

## 地域産業活性化対策特別委員会会議録

1. 日 時 平成24年12月12日(水曜日)  
午前 9時30分～午前10時40分 現地視察  
午前11時10分～午前11時18分 机上審査
2. 場 所 委員会室
3. 出席委員 西岡 晃 委員長 坪井 康男 副委員長  
河本 芳久 委員 山中 佳子 委員  
三好 睦子 委員 高木 法生 委員  
馬屋原 眞一 委員 秋枝 秀稔 委員  
猶野 智和 委員 秋山 哲朗 議長  
村上 健二 副議長
4. 欠席委員 なし
5. 出席した事務局職員  
石田 淳司 議会事務局長 岩崎 敏行 議会事務局補佐  
岡崎 基代 議会事務局主査
6. 説明のため出席した者の職氏名  
なし

午前11時10分開会

委員長（西岡 晃君） それでは只今より、地域産業活性化対策特別委員会の机上での審査を行いたいと思います。

先程は美祢観光開発株式会社、道の駅の視察ご苦労様でございました。それでは、美祢観光開発株式会社についての取りまとめは、また後日いたしたいと思えますけれども、二つ目の今後のスケジュールということで、一応案という形で今ペーパーをお出ししております。また、これについてご協議いただきたいと思いますが、一応私のほうでこのようにスケジュールを組んでみました。

平成24年の9月議会で、前回ですね、美祢農林開発株式会社の現地視察、また現状把握をさせていただきました。この議会で美祢観光開発株式会社の現地視察をして、現状把握をさせていただきました。

大きく二つのテーマに絞って、今後協議を進めたいというふうに考えております。まず、六次産業の推進化、そしてバイオマスの推進化ということで、大きいテーマとして、二つを絞っていききたいなというふうに、私考えております。

この辺ご意見何かございましたら、よろしくお願ひしたいと思います。はい、坪井副委員長。

副委員長（坪井康男君） あの大変いいテーマ設定だと思っております。それで、この六次産業化っていうのは非常に広い概念でありまして、バイオマスそのものも六次産業のスタートのところに位置づけられるのかなという思いがあります。ですから、テーマとしては二つ大きく分かれておりますが、私は両方合わせて一体的なものではなかろうかと思っておりますので、そういう認識でいいかどうか、ちょっと確認です。

委員長（西岡 晃君） 私の考えているところではですね、六次産業というところですね、今言われる当然バイオマスも商品になっていきますので、大きく言えば六次産業でしょうけれども、ひとつは六次産業推進っていうほうは、ひとつの商品、ソフト面っていうかですね、商品面をちょっと考えていききたいなということで、バイオマスの推進っていうことは、これは少しハードがかかってきますので、ハード面の件をちょっと調査してみたいなということで、ちょっと分けさせていただきました。

副委員長（坪井康男君） わかりました。結構です。

委員長（西岡 晃君） ほかに何か。はい、河本委員。

委員（河本芳久君） 今これでいいんですがね、市内においてこの二つに関わって、どんな実態になっておるかというその姿が現実的には見えんわけですよ。例えばバイオマス推進というけど、そういう資源的なこれからの可能性のあるものはあっても、具体的にそういったものに着手した状況がどうなっているか、ほとんど我々の今の情報ではない。

六次産業推進化って言っても、今於福の道の駅にまいりましたけれども、市内の特産品って言うか、六次産業化されたもので、2割ぐらいしかまだ商品化されていない。具体的な姿が見えてきていない。もっと市民がこれにどう関わっていくか、または市内の団体が、そういう実態もまだ明白ではない。その辺について、ある程度の情報交換をしながら、それぞれ班を分けないとちょっと先が見えない。

委員長（西岡 晃君） それで、今ちょっと先のことを言われたんですが、それでチームとして編成をしたいということで、平成25年の3月、次の3月議会までにそれぞれのチームにて現状把握、問題点の抽出、課題の分析をそれぞれやっていただきたいと。3月議会で執行部を呼んで更に聞くというような形にしたいと。

更に6月議会において、それぞれのチームにこういう構想を練っていただきたいということです。

9月議会に全体の取りまとめをしたいと。12月には26年度の予算に具体的な要望案を提出、この委員会でできればいいなということを思っております。

3月にその予算が反映されたかどうかの点検、そして総括をして、この委員会を締めくくりたいというようなスケジュールで行いたいというふうに思っておりますが、そういった流れでよろしいでしょうか。何かございますか。はい、三好委員。

委員（三好睦子君） 予算要望は12月議会で間に合うでしょうか。

委員長（西岡 晃君） 予算要望、具体的な案を12月議会までに出すということです。（発言する者あり）はい、河本委員。

委員（河本芳久君） 六次産業推進室まで立ち上げて行政でやっているが、ちょっとそういう行政としての思いは、どういうふうな構想を持っておるかも聞く場があるとですね。

委員長（西岡 晃君） 3月議会で聞いていきます。

委員（河本芳久君） そういう一つの面から、ある程度こちらの取り組みを考えた

方がいいんじゃないかと。というのが、現実にまだ姿として見えてないからね。

委員長（西岡 晃君） そこで、3月までに現状把握をしていただくということですね。見えてないんで、この委員会は立ち上がったと私は理解しておりますので、当然見えているのであれば、委員会する必要がありませんので、見えてないんで、現状把握をしっかり分析をしていただきたいということです。

それぞれあの一遍にやるとですね、ぐちゃぐちゃになるので、チームを分けて個別にやってまとめていきたいなというふうに思っておりますけれども、六次産業、今言うソフトのほうですね、とハードのほうと分かれてお願いしたいということですね、どっちのほうがいいかっていうのがご希望があれば。（発言するものあり）

一応副委員長なんで、チームのほうの責任者ってということで、バイオマスのほうの。（発言するものあり）お願いします。じゃあ山中委員、六次産業のほうのチームで仕切っていただいてよろしいですか。

3月までに、現状把握と問題点と課題の分析をある程度していただければというふうに思います。その時に執行部を呼んでですね、執行部のほうの考えを聞いていきたいというふうに思いますので。（発言するものあり）よろしいでしょうか。

その他、何かございますか。三好委員。

委員（三好睦子君） 道の駅はあそこだけじゃなくて市内にもほかにもありますので、やはりあのそういった面でも、また機会があれば視察に行くとか、要望聞くとか。視察は無理でしょうね。要望を聞くとかしていけばいいのではないかと思います。

委員長（西岡 晃君） はい、検討させていただきます。その他、何かございますか。よろしいですか。

では、今お示ししたスケジュールにのっとして今後進めたいというふうに思いますので、ご協力いただきたいと思います。

それではこれにて地域産業活性化対策特別委員会を終了させていただきます。どうもご協力ありがとうございました。

午前11時18分閉会

上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

平成24年12月12日

地域産業活性化特別委員長

西岡 晃